



## 九州初！遊休タクシーを活用した公共ライドシェア 4月19日 出発式を開催！

市では、新たな地域公共交通の取り組みとして「宗像版公共ライドシェア」の実証運行を開始します。これに伴い、4月19日（土）に出発式を宗像市役所にて開催します。

公共ライドシェアは自治体が運営し、指定した区域内をタクシーのように移動できる交通サービスで、運転はタクシードライバーや国が定めた講習を受けたドライバーが行います。

本市の公共ライドシェアは、タクシー会社と連携し、遊休タクシーを活用するモデルであり、自治体が運営する公共ライドシェアとしては九州で初めての取り組みです。

まずは岬地区から実証を行い、検証しながら段階的に対象地域を拡大する予定です。

さらに、本事業では、予約や配車状況の確認などが可能となる新たな配車アプリの開発を予定しています。このアプリは国土交通省の「令和7年度日本版MaaS推進・支援事業」に採択されており、アルパインマーケティング株式会社、株式会社ゼンリンと連携し、開発を行います。

これらの取り組みを通じて、地域公共交通を持続可能なものとし、より多くの市民にとって利用しやすい移動手段の実現を目指します。

### 【宗像版公共ライドシェア出発式 概要】

日 時：4月19日（土）13:00～

場 所：宗像市役所 正面玄関前

来賓者：九州運輸局長 原田 修吾 氏、福岡県副知事 江口 勝 氏、

西日本鉄道株式会社 副社長執行役員 松本 義人 氏、市内タクシー事業者 等

内 容：来賓挨拶、事業概要説明、くす玉開き、デモンストレーション、質疑応答

●MaaSとは…Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス)の略で、複数の交通手段を組み合わせ、検索・予約・決済を一括で行うサービス。

●令和7年度日本版MaaS推進・支援事業とは…複数の交通事業者の連携・協働により、多種多様な交通サービスを「一つのサービス」として利用可能とすることで、マルチモーダルかつシームレスな移動体験を提供するMaaSを活用して、移動環境の向上やコンテンツ連携による地域課題解決に資する取組を対象とする支援事業。

※宗像版公共ライドシェア予約方法…実証運行開始時点では電話による予約のみ。7月よりアプリによる予約も開始予定です



【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は事前にご連絡ください  
宗像市 都市再生部都市再生課(担当:平島、大内田) TEL:0940-36-9777